

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（その他の事故）

### 事故概要:

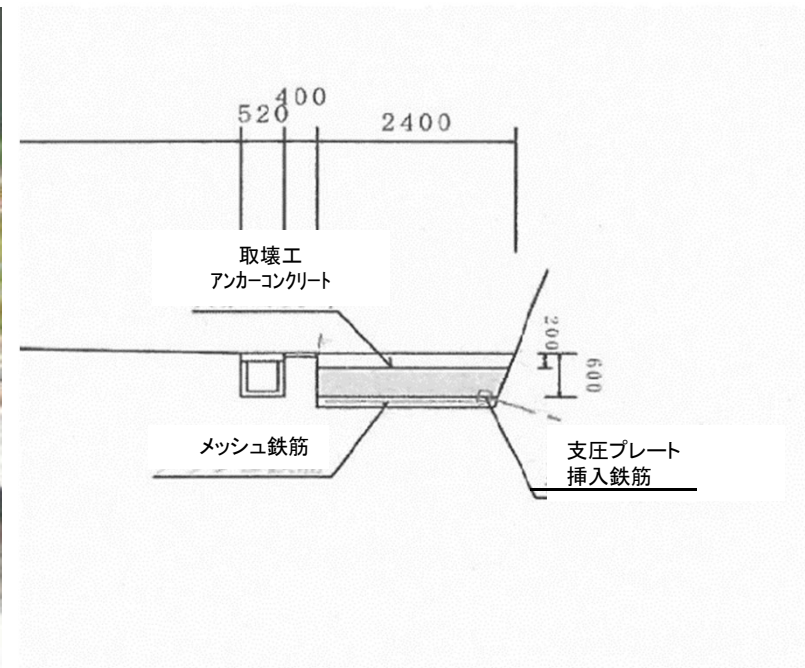
工事で設置した索道ウィンチ用アンカーをバックホウにて撤去(取り壊し)していたところ、誤って、道路構造物である軽量盛土抑止工の部材を損傷した。

### 事故原因:

占用物件の事前調査や作業員への周知が徹底されていない

### 改善対策:

- ・事前調査の徹底
- ・作業員への周知徹底



分類: 取壊工、BH掘削

被害状況: 軽量盛土抑止工部材を損傷

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 事故概要:

側溝敷設工事において、既設側溝取り壊し時に宅内への上水道引込管を切断した。

### 事故原因:

- ・人力施工とすべきが機械施工としていた
- ・事前確認を失念していた

### 改善対策:

- ・人力施工の徹底
- ・事前確認や試掘の実施を徹底



分類: 取壊工、BH掘削

被害状況: 民家1軒上水道2時間断水

## 平成26年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

### 事故概要:

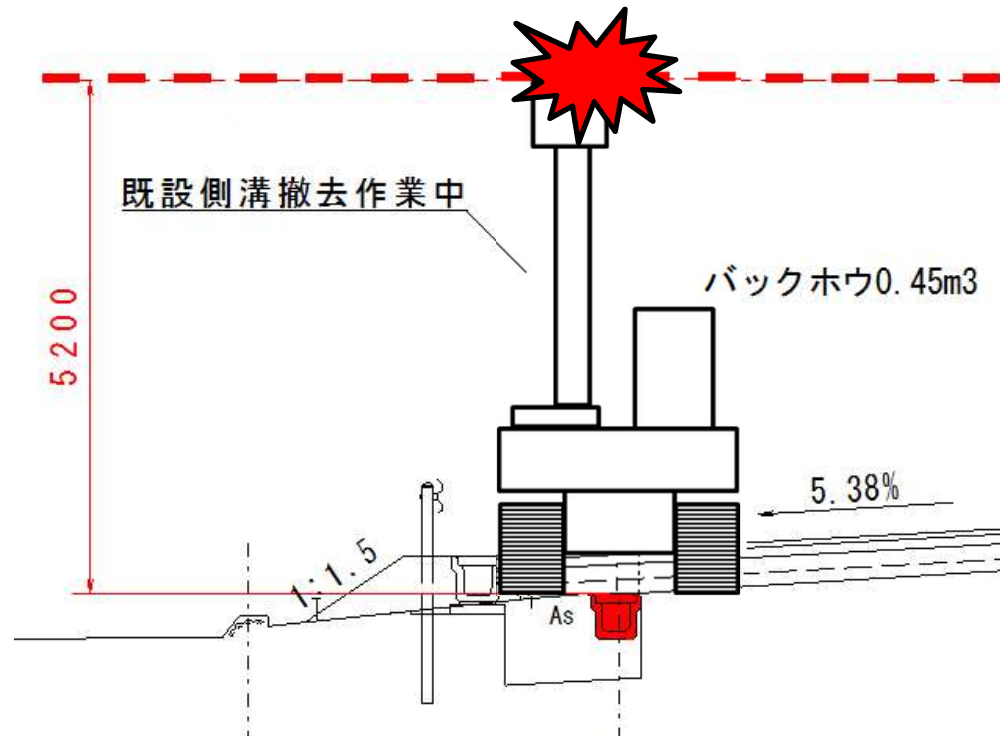
既設の道路側溝のコンクリート蓋をバックホウ(0.45m<sup>3</sup>)により吊り上げてダンプトラック(4t)に積込もうと旋回したところ、バックホウのアームが架空線に接触し損傷させた

### 事故原因:

- ・安全対策が実施されていなかった(防護管、目印、監視員の配置)
- ・架空線に係る安全教育を実施していなかった

### 改善対策:

- ・安全対策の実施
- ・安全教育の実施



分類: 取壊工、BH掘削

被害状況: 架空線損傷(通信障害の連絡はなかった)

## 平成26年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物損傷事故）

### 事故概要:

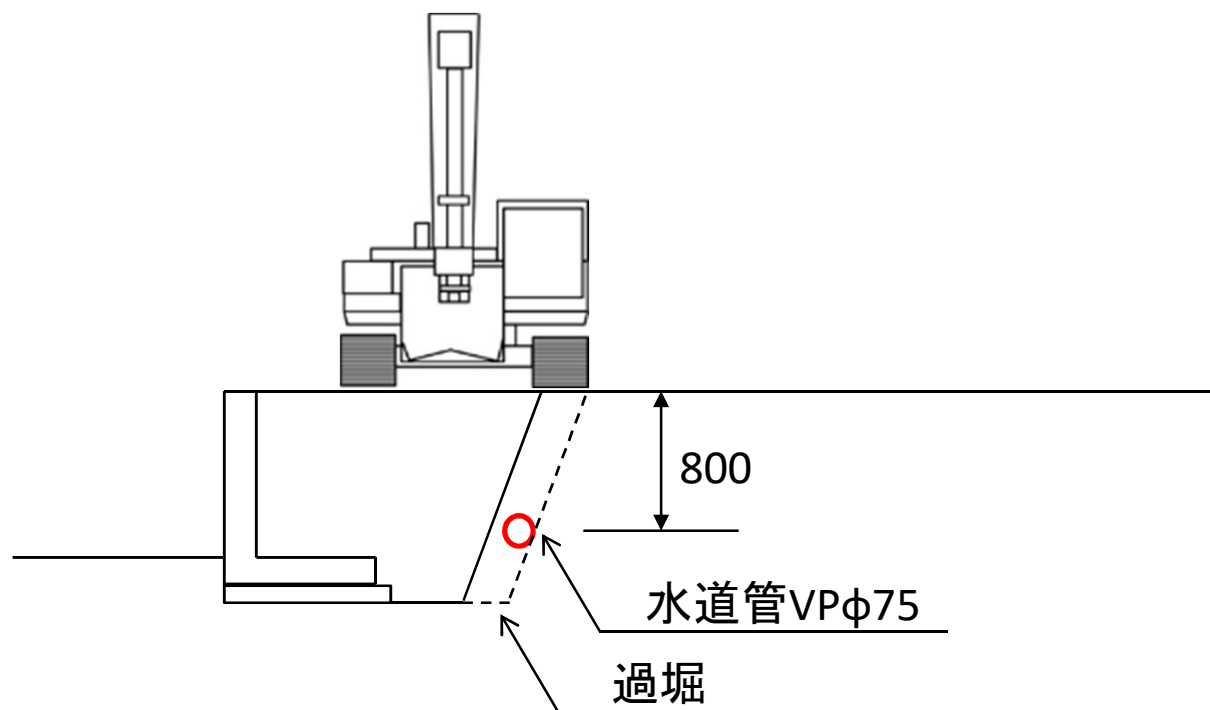
擁壁工を施工するためバックホウ(0.25m<sup>3</sup>)にて床掘を行っていた際に、床掘位置確認のため、測量を行ったところ床掘幅の不足箇所があったため、再度床掘を再開したところ、過剰に床掘してしまったため埋設されていた埋設管を損傷させた

### 事故原因:

- ・監視員が不在時に床掘を行った
- ※埋設管破損事故防止のため現場代理人が実施

### 改善対策:

- ・監視員が不在時には床掘を実施しない



分類: 取壊工、BH掘削

被害状況: 2世帯、1工場が1時間23分断水

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 事故概要：

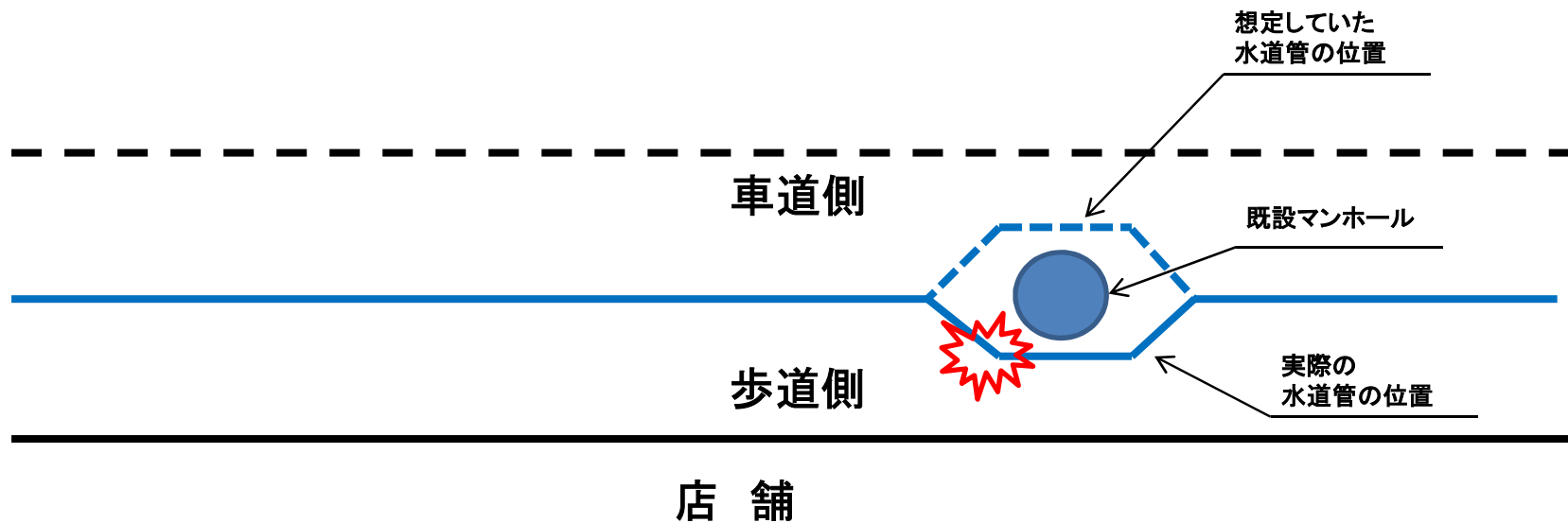
マンホール付近において、事前に把握していた周辺の水道管がマンホールを避けて車道側にあるだろうと判断し、歩道側の既設集水柵の撤去をバックホウで行っていたところ、埋設されていた水道管を損傷させた

### 事故原因：

・埋設位置の事前確認によらず自ら埋設位置を判断した

### 改善対策：

・試掘等による埋設位置の事前確認を徹底する



分類：取壊工、BH掘削

被害状況：2時間半2軒断水



## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 事故概要:

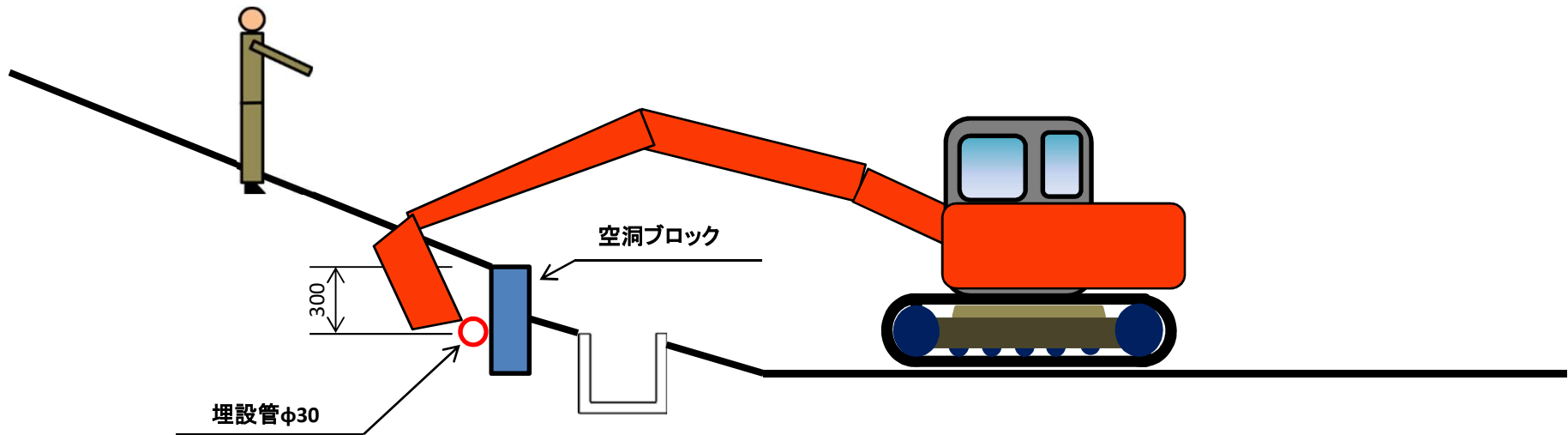
堤脚水路を設置するため、既設構造物(空洞ブロック)の取り壊しをバックホウ(0.4m<sup>3</sup>)にて施工中、深さ30cmのところ埋設してあった既設水道管を損傷させた

### 事故原因:

- ・埋設物調査の指示があったにもかかわらず調査を怠った

### 改善対策:

- ・埋設物管理者への事前確認や立ち会いの実施を徹底する



分類: 取壊工、BH掘削

被害状況: 民家1軒3時間半断水

## 平成28年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 【事故概要】

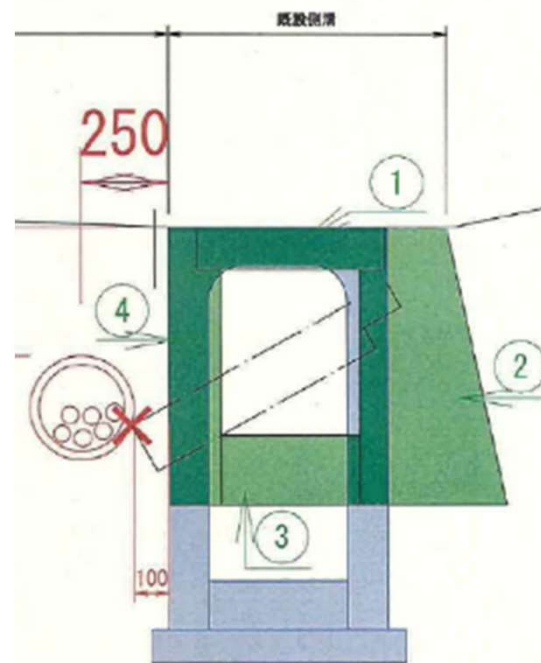
既設現場打側溝を撤去するため、バックホウで既設現場打側溝を引き起こそうとした際、隣接して埋設されていた情報BOX管路の外装管（波付硬質塩化ビニル管）に接触、損傷させた。

### 【事故原因】

・埋設管路の近接工事における事故防止措置の不実施

### 【改善対策】

・埋設物位置の把握、位置表示、埋設管の防護等  
・安全教育の徹底  
・監視員の配置



【分類】取壊工、BH掘削

【被害状況】情報BOX外装管損傷（通信障害なし）

## 平成28年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 【事故概要】

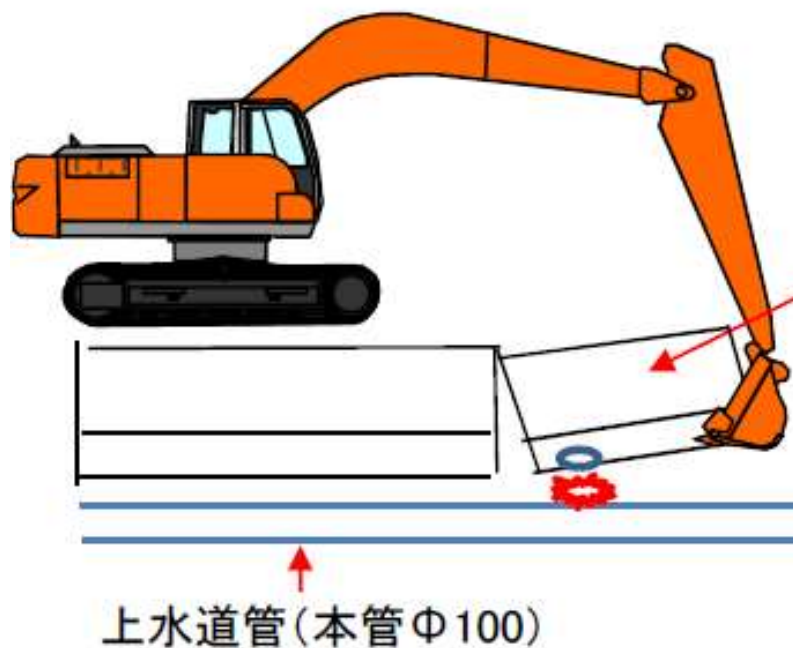
既設水路を撤去するためバックホウで既設水路を持ち上げた際、既設水路の敷均しコンクリートに付随して上水道の引込管（ポリエチレン管φ20mm）も持ち上げ、切断させた。

### 【事故原因】

- ・埋設物管理者及び監督員の立会を得ず、試掘を行った
- ・引込管位置での試掘を怠った

### 【改善対策】

- ・試掘時には埋設物管理者及び監督員に立会を求める
- ・適正な位置を協議のうえ決定し、試掘を行う



【分類】取壊工・BH掘削

【被害状況】上水道の引込管切断（断水 5分24世帯、110分1世帯）



## 平成29年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 【事故概要】

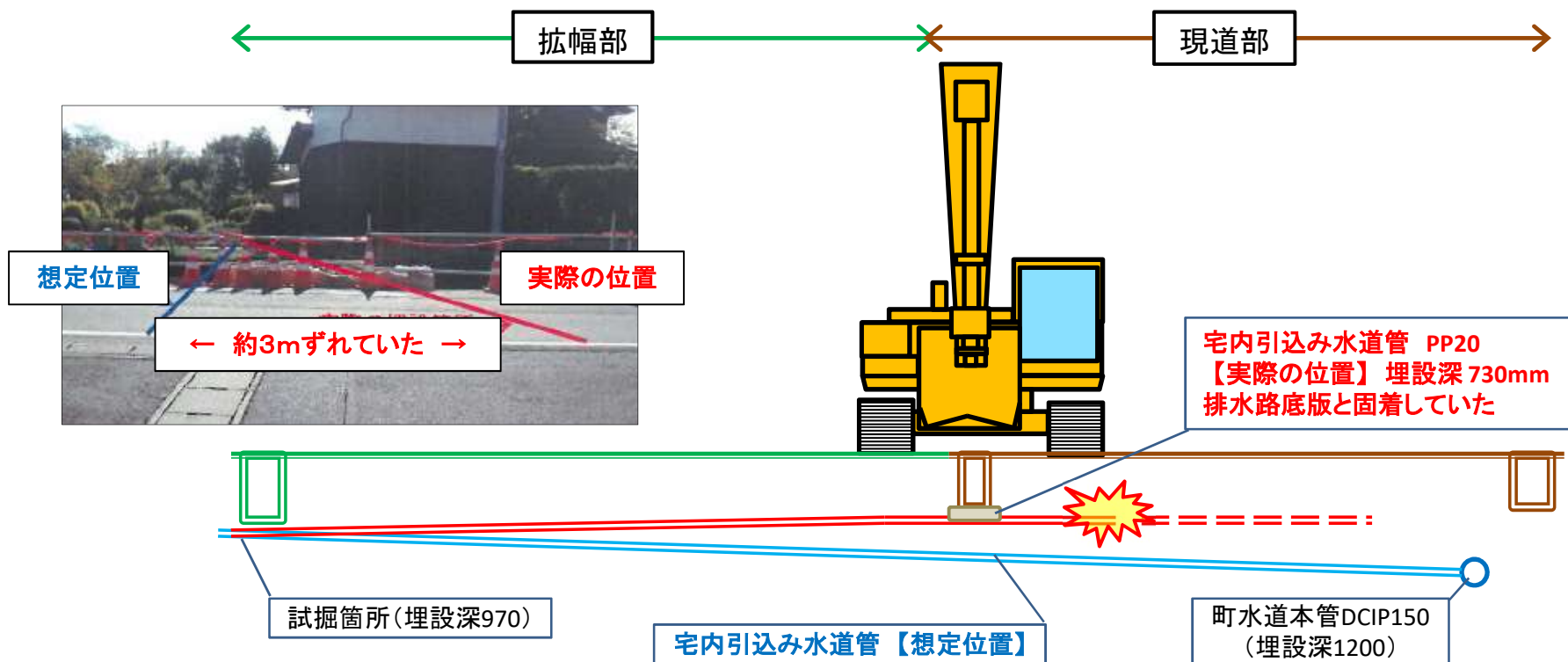
道路拡幅改良工事で既設排水路の取壊しを行っていた際、排水路底版に宅内引込み水道管（PPφ20mm）が固着しており、コンクリート殻の除去とともに、水道管が引っ張られ破損した。

### 【事故原因】

・水道管理者との事前立会いのもと試掘を行う等、必要な措置はなされていたものの、水道管が想定外の位置（縦断方向で約3mずれていた）にあった

### 【改善対策】

・埋設物近接作業では、人力による掘削や取壊し等、より慎重に作業を行う  
・立会いや試掘を行っていても、埋設物の位置や埋設深が想定と異なる可能性があることに留意して作業を行う



【分類】取壊工・BH掘削

【被害状況】宅内引込み水道管破損（断水 1軒、約5時間半）

# 令和元年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

## 【事故概要】

道路維持修繕業務にて、既設道路側溝取壊し掘削作業を行った際に、埋設ガス管が損傷し、ガス漏れが発生した。埋設管占有者に確認したところ、老朽化が進行したガス管であることから、本件ガス漏れについて、今回の掘削が、直接の原因であると断定も否定もできないことが判明した。

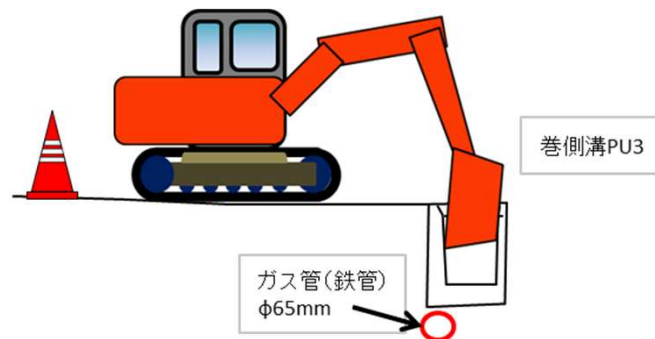
## 【事故原因】

・掘削作業を行う際、埋設物管理者に対して、事前に埋設管位置の確認及び試掘を行っていなかった。

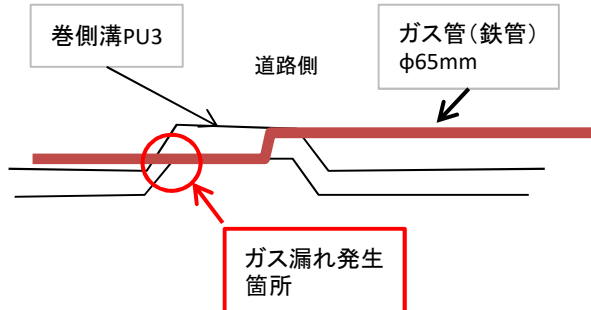
## 【改善対策】

・掘削作業を行う際、事前に地下埋設物の有無を照会し、管理者立会のもと試掘等で確認する。  
・地下埋設物の事故防止マニュアルを参考とし、慎重に掘削を行う。

現場状況断面図



現場状況平面図



事故発生状況



ガス管破損箇所

【分類】 取壊し工 BH掘削

【被害状況】ガス漏れ(埋設ガス管損傷)

# 令和元年度に建設工事で発生した事故事例（架空物損傷事故）

## 【事故概要】

道路改良工事の舗装取壊工において、バックホウでダンプへAS殻を積込み作業中、道路案内看板接触し、これを破損した。

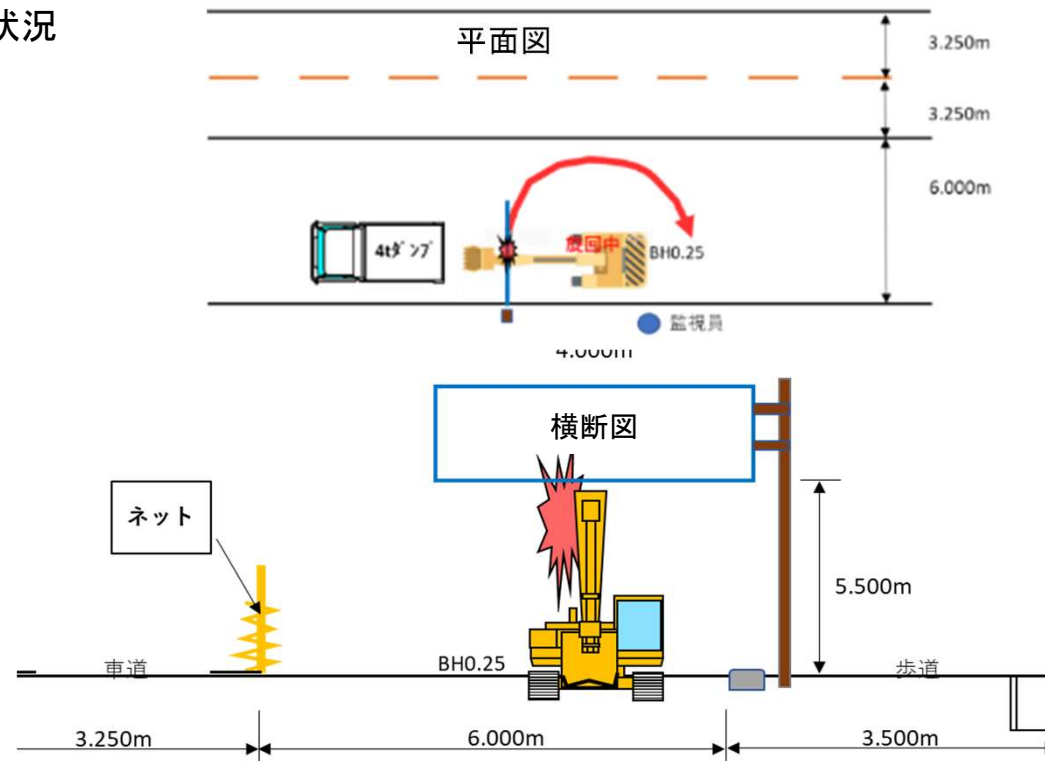
## 【事故原因】

- ・朝礼、KY活動時に、架空物への注意を徹底していたが、看板には接触しないという思い込みによる重機オペレータの不用意な旋回。
- ・監視員が配置されていたにもかかわらず、重機オペレータは、不注意によりその合図を見落とした。

## 【改善対策】

- ・作業前の朝礼等で、危険箇所、安全上の留意点などを周知徹底するとともに、留意すべき支障物を視差呼称にて確認することを徹底する。
- ・監視員は、重機オペレータが目視できる位置で合図を送り、オペレータは合図を確認したのち操作するよう徹底する。

事故発生状況



【分類】 取壊し工 BH掘削

【被害状況】案内看板一部損傷

## 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物事故）

### 【事故概要】

既設の道路横断暗渠の撤去作業中、地下埋設物(水道管)が、既設構造物基礎コンクリートに巻き込みされて設置されていたことに気が付かないまま取壊し作業を続けたため、水道管を破損した。

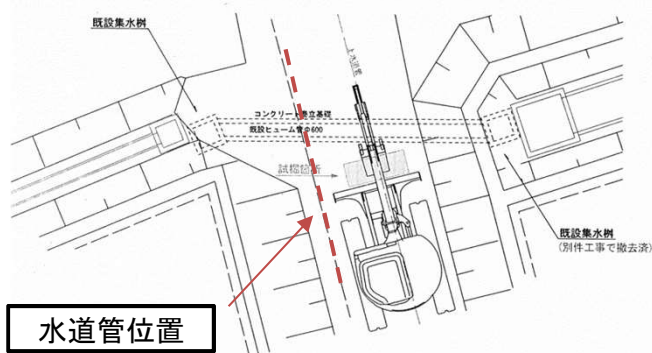
### 【事故原因】

・事前に水道管理者と立会のうえ試掘を行っていたが、管理者から、当該箇所での詳細な位置までは把握していない旨の回答があったことから、慎重に取壊し作業を行う必要があったにもかかわらず、バックホウによる通常を取壊し作業を続けたこと。

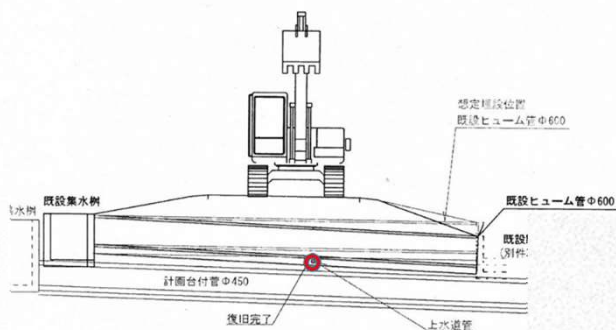
### 【改善対策】

・埋設物に係るチェックリストを活用し、埋設物管理者立会のもと試掘を行い、埋設位置を確認するとともに、詳細に調査を行う。  
・埋設管箇所の掘削等施工は、管理者に立会のもと、人力併用掘削等慎重に作業を行い、埋設管位置を確認する

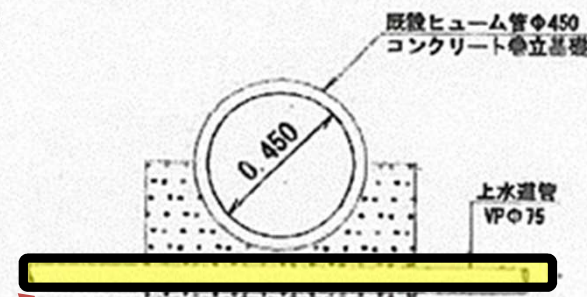
事故現場平面図



断面図



既設構造物状況図



暗渠基礎コンクリートに巻き立てられる形で水道管が設置されている

【分類】 取壊し工、BH掘削

【被害状況】 公衆災害 水道管φ75 損傷 断水(7時間25分) 1軒



## 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物事故）

### 【事故概要】

既設道路横断暗渠の撤去作業中、地下埋設物(水道管)が、既設構造物基礎コンクリートに一部付着した形で設置されていたことに気が付かないまま取壊し作業を続けたため、水道管を破損した。

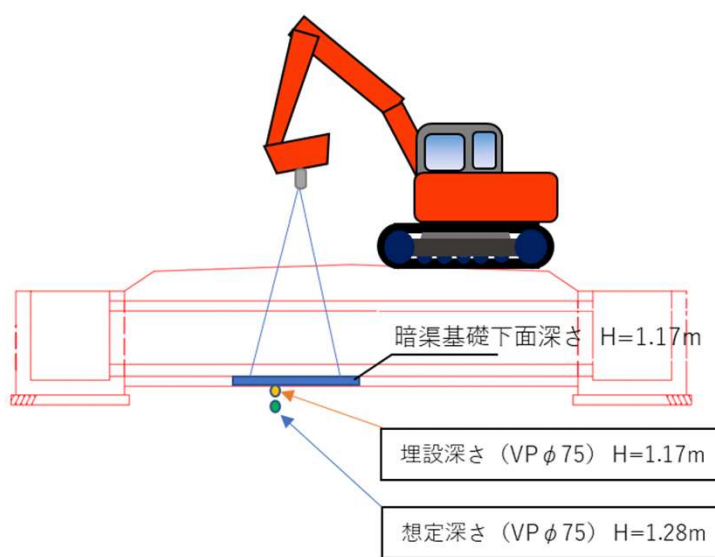
### 【事故原因】

- ・事前に近接施工箇所で水道管の埋設深さを確認していたが、道路横断暗渠部では基礎と離隔が少ないにも関わらず、試掘などの埋設物調査を行うことなく重機による掘削、撤去を行い、慎重さを欠いた。
- ・また、試掘等での水道管理者との立会を行っていなかった。

### 【改善対策】

- ・「地下埋設物の事故防止マニュアル」を順守し、近接作業においては、埋設物責任者が指揮のうえ作業を行う。
- ・施工計画書の見直しを行い、地下埋設物の事故防止の強化を図る。
- ・地下埋設物の位置を周知させるため、杭やペンキ等で目印を付け注意喚起を図る。

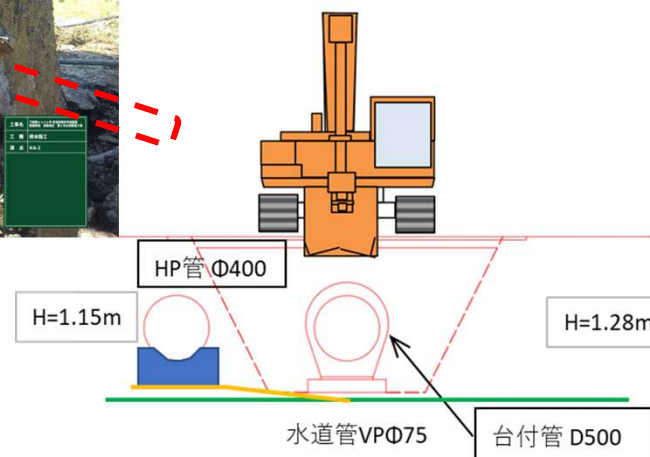
事故現場状況図1



水道管付着状況



事故現場状況図2



【分類】取壊し工、BH掘削

【被害状況】公衆災害 水道管φ75 損傷 断水(2時間45分) 21軒

## 令和4年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物事故）

### 【事故概要】

既設石綿管の防護コンクリート撤去作業中、BH(0.22m<sup>3</sup>級)にて吊り上げたコンクリート片が並走する上水道管(φ75mm)に接触し破損漏水した。

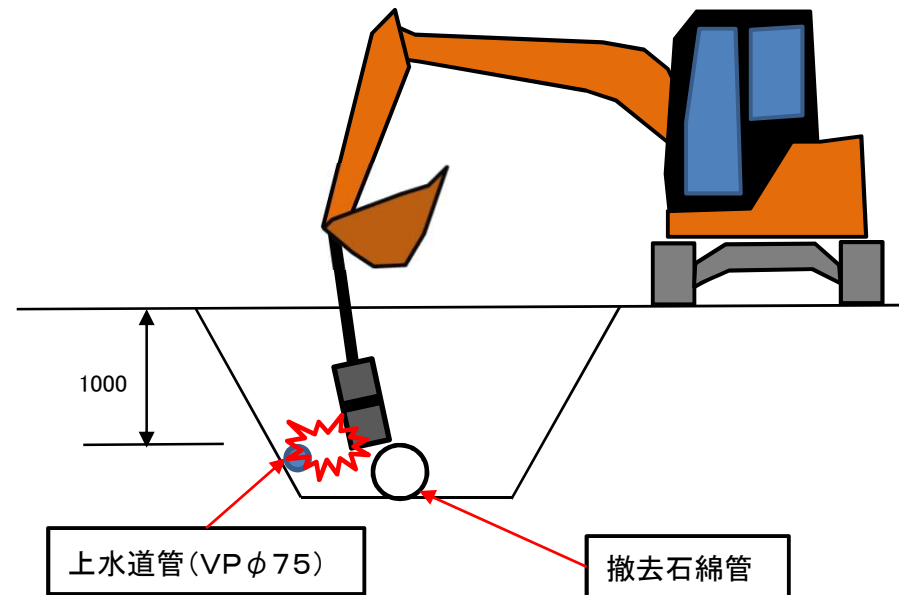
### 【事故原因】

- ・事前に上水道管を手掘りにて露出させ、位置を把握していたが、近接した埋設物が複数あり、他の水道管(φ20mm)に気を取られ注意が不足していた。
- ・破碎したコンクリート片をクレーン機能付きバックホウにて吊り上げた際に、作業員の操作不注意により、上水道管に接触した。

### 【改善対策】

- ・各作業分担、合図等について、安全の確保に十分配慮した作業計画を定め、合図者の指示のもと作業を行う。
- ・2本2点吊りにより、吊り荷が回転しないよう吊り金具を取り付け、垂直に吊り上げること。
- ・埋設物付近の作業は、一層慎重な作業を行うとともに、下請負人にも周知徹底すること。

### 事故現場状況



【分類】取壊工 BH掘削

【被害状況】公衆物損 3軒断水 4時間50分